


# 明野地域ビジョン会議 通信

第2号

この通信は、地域ビジョン会議の内容について地域の皆様にご報告するとともに、地域の現状や課題、将来像について共有していただくために発行いたしております。

## 地域ビジョン会議の目的

本市においても、今後、人口が減少に転じることが予測され、地域コミュニティの活性化や効率的な行政運営等々諸課題への対策が求められています。

これら課題の解決には、行政が市民の意向や地域の実情を的確に把握し、市政への反映に努めることが重要です。

このような中、市内 13 地域において、地域の代表者等で構成する『ビジョン会議』を設置し、議論を深めそれぞれの特性を踏まえた「地域まちづくりビジョン」としてご提言いただきます。

## 第2回明野地域ビジョン会議



■平成 29 年 7 月 28 日（金）14：00～

■明野支所 2 階 大会議室

開会

一、会長挨拶

二、議事

1 大分市の都市計画に関連する計画について

2 今後の会議の進め方について

3 意見交換

①地域の概要

②地域の現状と課題

③地域のまちづくりの将来像

④地域のまちづくりの取組方針

三、その他

1 本日の会議を振り返ってのアンケートについて

2 次回の会議について

閉会

## 大分市の都市計画に関連する計画について

事務局よりこれからのまちづくりについて各計画の説明を行いました。

### 1. 大分市立地適正化計画について

大分市では、昭和 39 年の新産業都市の指定後、急激な商工業の発展と人口増加にあわせて、市街地が拡大し、都市基盤施設の整備などを推進してきたことにより、拡散型の土地利用が進行してきました。そのため、今後、少子高齢化等の進展による人口減少および人口密度の低下に伴い、税収の減少による財政規模の縮小、生活利便施設や公共交通の縮小、地域コミュニティ機能の低下等が予測され、人々の暮らしに様々な影響を及ぼすことが懸念されます。

高齢者や子育て世代にとって、安心して健康で快適な生活環境を実現すること、財政面及び経済面において持続可能な都市経営を行うこと、公共交通等の効率化により低炭素型の都市構造を実現すること、災害から人命を守ることを推進していくため、都市の基本構造の在り方の見直しを行うことなどにより、集約型都市構造へと転換する必要があります。

以上のことから、都市機能や居住の誘導に関する具体的な方策の検討を行い、都市再生特別措置法第 81 条に基づき、「立地適正化計画」を平成 30 年度末の公表を目指して作成することとしています。

### 2. 明野地区における都市計画について（都市計画マスタープランの概要）

本地区は、臨海工業地帯の背後に位置する住宅地として開発され、近年では新たにマンション立地も目立つようになるなど、当初の構想からは異なる展開も見られます。

また、都市近郊における身近な緑あふれる松栄山の風致地区などが存在し、豊かな自然環境を育んでいる地区でもあります。このように本地区は、従来からの業務機能に加え、さらに文化機能・商業機能・居住機能を充実し、付加することで成熟化を必要とする地区です。

このようなことから本地区は、「緑に包まれ、成熟した生活文化拠点の形成」をまちづくりの目標とします。



## <意見交換の内容>

第2回ビジョン会議で行った意見交換の内容を整理しました。これらの意見をもとに引き続き、明野地域のビジョンについて話し合いを進めていきます。

### 市民福祉（高齢者福祉、地域コミュニティ、地域活動の担い手育成等について）

- 高齢者徘徊対策のモデル地区としてみてはどうか
- 地域活動の担い手をつくる必要がある
- 若い世代が活動できる場、また若い世代と高齢者との交流できる場所がほしい
- 地域のコミュニティが希薄となっている
- 若い母親が集まり子ども向けのサークルを作っている
- ボランティアの人が集まり、「ふれんど まちづくり」という団体に活動をしている

### 教育・文化（学校教育の充実について）

- 教育や人材育成の面で、もっと取り組むべき
- 明野を教育に特化した地区としてはどうか

### 防災安全（防災意識の醸成や防災予防対策、防犯対策等について）

- 高台にあることから、水害等の災害の危険性が少ないので、一大防災拠点をつくるべきである
- 防災意識を高めるため、訓練所といった体験ができる施設が必要である
- 災害時の人的被害を抑えるためにもコミュニティを良くすることが大事
- 防災活動を明野地区全体で実施することで、防災意識が高まるのでは
- 防災カメラを設置して、防犯や災害時の避難ルートの確認などに活かす
- 学校の通用門に監視カメラをつけるべきである
- Jアラートを活用したモデル地区とする
- 明野地区独自の備蓄を検討すべきでは。例えば、コンビニとの連携をしてはどうか
- 各小学校の空き教室に食料を備蓄してはどうか

### 産業（アクロスを中心としたサービス等について）

- アクロス以外にも、スーパー等がほしい
- 明野の商業は、アクロスを中心にできている
- 若者がパークプレイスではなくアクロスに来るようにしたい

### 都市基盤（公共施設の整備や機能拡充、交通体系等について）

- 坂道が多く、高齢者の負担になっている
- 公衆電話が減っており、公園等に設置してほしい
- バス網が整備されていない地域を解消すれば利便性が高まる
- 渋滞を緩和する対策を
- 高齢者が出かけられるようにコミュニティバス等がほしい
- 側溝の排水能力を高めるべきである
- 公園に高齢者や子どもと一緒に遊べる遊具の整備をすべきである
- 複合型の防災センターをつくり、その中に支所やプール、体育館等を備える
- サロン活動ができる場所がほしい。支所機能をいかに充実させるのか検討が必要。例えば、複合的な交流プラザとして実現させてはどうか
- 公園に人が集まるような環境にしたい（施設整備、ラジオ体操実施）

### 環境（ボランティア活動や、公園の樹木や花壇について）

- ボランティアでごみ拾いをしている団体がある
- 明野は緑が多くて住みやすい
- 明野には様々な公園があるが、樹木が成長し、環境が悪化している

### その他

- 地理的条件が良く、知名度が高い
- 空き家・空き地の数を調べ、他の利用をすべきである